

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和5年6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト縮減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
8	<p>(事業名・地区) 一般県道草野横田線 防災安全交付金事業 東比田2工区(改良)</p> <p>(事業位置) 安来市広瀬町東比田 地内</p> <p>(事業費) 1,115,000千円</p> <p>(事業概要) 本事業は安来市広瀬町東比田地内における1.95km区間を現道拡幅やバイパスで2車線整備するものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道路法第15条</p> <p>(再評価区分) ◎事業採択後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部建設課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度:2014(H26)年度 用地着手年度:2014(H26)年度 工事着手年度:2015(H27)年度 完了予定年度:2028(R10)年度 経過年数:10年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 進捗率(全体):71% 〃(用地):92% 〃(工事):68% ※事業費ベース</p> <p>工事の進捗状況は、全体延長1.95kmのうち西側0.52kmは供用済(供用率27%) 現在、現道拡幅部の道路改良工事を施工しており、2023(R5)年度よりバイパス区間に着手し2028(R10)年度に全線完成を予定している</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 本路線は、安来市伯太町草野を起点とし、一般国道432号を經由し、奥出雲町大呂において一般県道横田伯南線に接続する路線である。 今回整備区間は、幅員が3m程度と狭く、線形も悪いため離合が困難で危険な状態である。また、沿線には落石危険箇所が存在するとともに、冬期には積雪により通行困難となる状況である。このことから、本事業で道路を拡幅し線形を改良することにより自動車交通の円滑な走行及び安全性の向上を図るものである。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 当該箇所は、安来市伯太町草野から安来市広瀬支所への最短ルートであるとともに安来市広瀬町東比田から安来市伯太支所への最短ルートとなっている。また、中山間地域を東西に繋ぐ重要な路線であることから走行性及び安全性の向上が望まれている。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 地元は「一般県道草野横田線改良促進期成同盟会」を組織し、地元調整を行うなど協力的であり、早期の事業完了が期待されている。</p>	<p>(費用対効果) B/C= 0.66</p> <p>(コスト縮減・代替案等) ①事業の妥当性 県条例に基づき、地域区分と計画交通量から、道路規格第3種4級、設計速度30km/h、道路幅員2.75m×2車線+路肩の全幅7.0mとした。</p> <p>②事業の妥当性 現道拡幅とバイパスを併用した経済的な案を採用した。</p> <p>③コスト縮減への取組み 隣接工区の掘削残土を盛土材に流用することにより、工事費を軽減している。</p> <p>(その他の効果) 第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られる。 また、中国地方一円の畜産農家から信心を集めている縄久利神社へのアクセスの利便性及び安全性の向上が図られる。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 環境配慮の取組状況 ・共通配慮事項 別添『取組シート』のとおり</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 道路幅員が狭く線形が悪い状況が解消されず、普通車同士の離合もままならない状態が続くこと及び落石危険箇所が存在することから、安全で円滑な交通の確保ができない。 さらに、幅員が狭く線形が悪いことから、豪雪地帯である当該路線の除雪作業に時間を要することとなる。 なお、用地買収は概ね完了しており、中止した場合、用地提供者など地元住民の理解が得られない。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続の理由) 本事業により、狭隘な幅員は解消され、安全で円滑な交通が確保できる。 現在も事業の必要整は変わっておらず、これまで改良した区間の効果発現のためにも、全線改良を図る必要がある。</p>

一般県道 草野横田線 東比田2工区

【路線の概要】

本路線は、安来市伯太町草野を起点とし、一般国道432号を經由し、奥出雲町大呂において一般県道横田伯南線に接続する路線であり、沿線地域の生活を支える重要な路線であるとともに、中山間地域を東西に縦貫し地域の連携強化を図る上で重要な路線である。

【事業の概要】

当該区間は幅員が3m程度と狭く、線形も悪いため離合が困難で危険な状態である。また、落石危険箇所があり冬期には積雪により通行困難となる状況であることから、本事業で道路を拡幅し線形を改良することで自動車交通の円滑な走行及び安全性の向上を図るものである。

位置図

